

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

# 千葉・蘇我・佐倉・習志野運輸区の 全乗務員に駅業務との兼務発令

## 統括センター化・ジョブローテーション撤回を

(22年3月12日)

木更津運輸区 → 木更津統括センター化

(23年7月1日)

千葉運輸区 → 千葉営業統括センターと兼務

習志野運輸区 → 津田沼営業統括センターと兼務

鴨川運輸区 → 鴨川統括センター化

蘇我運輸区 → 千葉営業統括センターと兼務

佐倉運輸区 → 成田統括センターと兼務

銚子運輸区 → 成田統括センター化

会社は7月1日から茂原統括センター新設、成田営業統括センターと銚子運輸区を融合して成田統括センター化、千葉、新浦安、木更津、成田の各エリアの駅を（営業）統括センターに組み入れて、全駅を（営業）統括センター化するとしています。

それと同時に、千葉・蘇我・佐倉・習志野運輸区的全乗務員（本体エルダー社員除く）を対象に（営業）統括センターとの兼務発令が強行されようとしています。

### 乗務員追い込む制度は許せない

すでに乗務員の一部が交番中に駅業務につく運用や、運転士を交番中に車掌行路に兼務させる込み運用が開始されています。

また、ジョブローテーションはこれまで乗務員区間での異動が中心でしたが、統括センター化・兼務発令は駅への異動（担務変更）を含めてさまざまな勤務地・職種への配転攻撃への激化につながるものです。

すでにジョブローテーションで他職に発令されて休職や退職に追い込まれる仲間が急増しています。乗務員を追い込み、ないがしろにする会社のやり方は本当に許せません。

### 現場からの反対の声に力がある

こんな制度は廃止以外にありません。異動・担務変更をエスカレートさせる統括センター化・兼務発令も撤回すべきです。

かつてライフサイクル制度をめぐって東労組の青年運転士たちから激しい怒りの声があがり、会社はいったん実施を延期せざるを得ませんでした。会社の施策を打ち破る力はこの現場の力にあります。

改めて動労千葉とともに業務融合化・統括センター化・兼務発令、ジョブローテーション、職名廃止の撤回の声を上げよう。